

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(砂防) 平成26年度採択テーマ 中間評価結果

テーマおよび概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	早川流域における降雨と地盤の保水・透水特性に着目した土砂流出特性に関する研究	山梨大学大学院 荒木 功平	土砂流出形態の明確化に努めること。 また、既往の調査データの有効活用や次年度に向けた機器の設置について検討すること。
概要	早川流域で現地調査、現地土砂の室内試験等を行い、土の保水・透水性を明らかにし、降雨に伴う土砂流出(崩壊)特性の把握と監視手法を開発・研究する。		
テーマ	同時多発的土石流発生メカニズムとリスク評価手法の検討	独立行政法人 土木研究所 石塚 忠範	いくつかの課題を総合化するとともに、メカニズムの解明からリスク評価へどう繋げていくかを念頭に研究を進めること。
概要	現地観測及び斜面崩壊危険度評価等により、同時多発的な表層崩壊・土石流が発生する条件と氾濫被害を予測するための手法を検討する。		
テーマ	火山と地すべり地におけるUAV搭載型LP計測による地表変動評価手法の開発	北海道大学大学院 笠井 美青	UAV搭載型LP計測における使用の条件を明確化し、LP計測の精度向上へ努めること。
概要	火山と地すべり地を対象にUAV搭載型LPによる定期計測を実施し、UAVを活用した地表変動評価手法の開発と調査計画の提案を行う。		
テーマ	土壌水分と地表面変位の同時計測に基づく斜面崩壊発生予測手法の開発	高知大学 笹原 克夫	実験解析結果を踏まえ、どの様に発生予測に結びつけるかについて研究を進めること。
概要	土砂災害警戒区域などにおける土砂災害に対する警戒避難体制の構築のために、斜面内の土壌水分量と地表面変位(変形)の同時計測に基づいた、降雨による斜面崩壊発生時刻の予測手法を開発する。		
テーマ	効果的な防災計画と連関させるべき科学的知見および地域文化の再発見・発信とこれらを踏まえた砂防総合対策技術の開発	名古屋大学大学院 田中 隆文	個別の防災対策に対する検討結果を踏まえ、総合対策技術として、一般化、体系化への道筋の明確化を図りながら研究を進めること。 また、地域文化の特性、時系列的な変化を考慮した面についても検討されたい。
概要	地域の地勢学的特性、土地利用・災害履歴、地域文化、伝承などを踏まえた防災啓発周知手法を開発する。		
テーマ	焼岳における融雪型火山泥流の危険度評価法の確立	京都大学 堤 大三	融雪による崩壊による影響も含めて検討するとともに、どのように危険度評価法まで結びつけるかについて研究を進めること。
概要	融雪型火山泥流の発生機構を明らかにし、焼岳における泥流挙動解析に基づいた危険度評価からハザードマップ作成のための情報提供を行う。		
テーマ	浅間山噴火時の降灰調査を目的とした無人調査ロボットの研究開発	東北大学大学院 永谷 圭司	無人調査ロボットによる調査結果を土石流予測シナリオに具体的にどう取り入れていくかについても検討のうえ、研究を進めること。
概要	浅間山の噴火時、遠隔操作にて火山環境に進入し、火山灰の降灰量や性質の調査を近距離から行うことが可能な、無人調査ロボットの研究開発を行う。		

(五十音順、敬称略)